

～表の見方～

各質問項目について、生徒・教師・保護者の三者からアンケートを取っております。

4(ほぼ当てはまる) 3(少し当てはまる)

2(少し当てはまらない) 1(ほぼ当てはまらない) で回答していただきました。

4及び3の回答を肯定的な回答としてとらえ、その数字を以下の表に記載しております。

項目	内容	教師	生徒	保護者
学校教育目標に関する項目	1 生徒が、自分自身を認めながら充実した学校生活を送ること	97.4%	86.2%	89.4%
	2 生徒が、自分にできることを行い、学校生活や家庭生活で他の人の役に立とうとすること	97.4%	83.1%	90.1%
	3 生徒が、学校行事や授業など何事にも進んで取り組むこと(主体性)	94.7%	81.6%	80.1%
	4 生徒が、お互いに認め合い、励まし合い、高め合うこと(協働性)	94.7%	89.3%	84.4%
	5 生徒が、「凡事徹底」「自己への挑戦」「他への貢献」に繋がる学校生活を送ること	94.7%	85.0%	77.8%
	6 生徒が、自他を大切にし、人権を尊重しようとしてできること	97.4%	92.6%	96.4%
	7 生徒が、学校生活において決まりを守れること	97.4%	91.4%	91.4%
学校教育活動全般に関する項目	8 生徒の学力を伸ばすための授業に取り組むこと	89.5%	85.4%	
	9 生徒が主体となった授業をつくりあげること	88.9%	83.1%	
	10 生徒に、家庭学習の習慣が身についていること	68.4%	75.2%	70.5%
	11 生徒が、中学生らしい身なりや服装ができること	89.5%	94.0%	98.3%
	12 生徒が、安全な登下校や学校生活ができること	86.8%	95.5%	97.0%
	13 生徒が、家庭や地域で挨拶ができること	68.4%	92.6%	89.7%
	14 生徒が、将来の夢について話ができること	89.5%	64.4%	67.9%
マイプロジェクトに関する項目	15 生徒に「自分で朝起きる、朝食を食べる、自分で勉強する」を意識した指導を行うこと			
	16 生徒が、朝自分で起きること	86.8%	72.1%	56.3%
	17 生徒が、朝食を食べること		90.2%	95.4%
	18 生徒に、家庭学習の習慣が身についていること		75.2%	70.5%
ホームプロジェクトに関する項目	19 生徒に「返事をする、手伝いをする、家庭で話をする」を意識した指導を行うこと			
	20 生徒が、しっかりとした返事をできること	90.4%	91.6%	90.4%
	21 生徒が、家庭で学校や友達について話すこと		87.6%	89.4%
	22 生徒が、夜10時以降のスマートフォンの使用を控えること		58.9%	70.9%
その他の項目	23 それぞれが、生徒会活動やPTA活動に積極的に参加すること	76.3%	66.6%	51.7%
	24 学校が、保護者への連絡や情報提供を行い、信頼関係づくりを行うこと	92.1%		90.1%
	25 生徒が、この学校に通って良かったと感じられていること	89.5%	86.2%	84.4%

よりよい学校づくりに向けて
学校評価アンケート結果

爽風



『主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』
『「凡事徹底」、そして「自己への挑戦」・「他への貢献」』

西合志南中学校
学校通信
令和6年2月29日
第10号
発行責任者
大山 寛
井上 竹久



今年度もあと一月となりました。日頃より本校の教育活動について多大なるご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

今回は、皆様にご協力頂きました学校評価アンケートの結果をお知らせしたいと思います。

頂きましたご意見については、真摯に受け止め、今後の学校教育活動に生かしていきたいと思っております。

～アンケート結果の考察～

全ての項目について、8割近い肯定的な回答を頂きました。その中で数値的に他の項目と差がついたものは、○家庭学習の習慣を身につけること ○朝、自分で起きること ○スマートフォンの利用に関する事などです。また、よりよい授業をつくりあげることに関しても、職員・生徒とともに今後も取り組んでいきたいと思っております。

西南中のいい話
～他への貢献～

本校保護者からご連絡いただいたお話です。

日曜日、本校の男子生徒が遊びに行く途中、道の真ん中で足が悪くうずくまっているお爺さんを抱えて助けていたそうです。その後、お爺さんと一緒に荷物を持ってあげ、家まで付き添ったとのことでした。

また先日、菊池郡市生徒の善行をたたえる「里仁賞」の表彰が行われ、本校生徒が迷子の保護を行ったということで表彰を受けました。(29日付け熊日新聞にて掲載)学校の外でも「他への貢献」を行う姿を見ることができ、誇りに思います。



学校HP更新中! 左記QRコード読み取り電子媒体でご覧の方はQRコード自体をタップすればページにジャンプします。

熊本県学力・学習状況調査結果

令和5年12月に、県内の1・2年生を対象に熊本県・学力学習状況調査が実施されました。以下に本校における結果の概要をご紹介します。

【調査内容】 教科に関する学力調査:国語、数学、英語、質問紙調査(生活面)

○学力に関する結果

【1年生】 受験教科平均で見ると、全教科において全国水準とほぼ同程度でした。特に、数学において全体の伸びが見られました。英語においては基礎的な知識・技能の定着が今後の課題です。

【2年生】 受験教科平均で見ると、全教科において全国水準とほぼ同程度でした。特に、国語と英語において全体の伸びが見られました。数学では、基礎的な知識の定着とその活用が今後の課題です。

上記結果は概要ですが、職員間で詳細な結果分析を行いました。その内容を踏まえ、学力充実に向けて下記のとおり取り組んでいます。

【国語】 授業の中で、図表を読み取り、条件の中で文章を書く練習を行う。効果のあった漢字プリント等の取組を継続して授業で行う。

【数学】 基礎・基本問題の反復を行うため、ドリル学習を授業で行う。

【英語】 毎時間の中に、基礎的・基本的事項の定着を図る時間をとる。リスニングにおいて、単元テストなどで実施の機会を増やす。

【その他】 デジタルドリルを活用した家庭学習の充実に取り組む。

※個人の結果については、生徒へ配付しておりますのでご確認ください。